

宮古市寄附金活用事業報告書（令和2年度）

平成31年1月1日から令和元年12月31日までにお寄せいただいた寄附金について、令和2年度に実施する以下の事業に活用させていただきます。（活用総額：150,319,299円）

01 子育て支援の充実に

● 地域子育て支援拠点事業（寄附金活用金額：4,370,450円）

子育て支援センター、つどいの広場、ファミリーサポートセンターの設置・運営を行います。

02 産業の振興に

● 地産地消推進事業（寄附金活用金額：300,000円）



市内の農業の実態を理解し、市内で生産されるさまざまな農産物の地産地消を推進するため、季節ごとに農業体験事業を実施します。

写真① 田植え体験の様子

● 林業体験推進事業（寄附金活用金額：500,000円）

植樹活動を通じて、林業への理解を深めてもらうとともに、樹木が作り出す栄養がいずれ宮古湾に注ぎ、海が豊かになることを実感してもらうため、私有林等を活用した森づくり体験学習会を実施します。



写真② 植樹体験の様子

● 廻来船誘致対策事業（寄附金活用金額：766,500円）



宮古市魚市場の水揚げは、廻来船が数量・金額とも大きな割合を占めていることから、関東、北陸、北海道、東北地区の船主や漁業協同組合などに対して、官民一体の誘致活動を行うとともに、廻来船や買受人が使用する氷に対して一定の助成を行い、水揚げの増大と加工原魚の確保を図ります。

写真③ 廻来船によるサンマ水揚げの様子

03 自然環境の保全に

● 住宅用太陽光発電システム導入促進事業（寄附金活用金額：2,131,500円）

環境に対する意識の高揚と再生可能エネルギーの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置経費の一部を補助します。

04 教育環境の充実に

● 図書館運営事業（寄附金活用金額：3,602,000円）

市民の生涯学習を支援するため、図書館資料の整備と市民が読書に親しむ環境づくりを推進します。

05 地域文化の保存・伝承に

● 民俗芸能記録保存事業（寄附金活用金額：761,500円）

古くから伝承する郷土芸能を後世に伝えるため、映像により記録保存する取り組みを行います。

06 市長におまかせ

● 国民健康保険事業（寄附金活用金額：12,386,000円）

子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備するため、国民健康保険税のうち子どもの均等割を減免します。

● 特定不妊治療費助成事業（寄附金活用金額：10,000,000円）

特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

● 幼児教育・保育無償化に係る市単独事業（寄附金活用金額：30,000,000円）

幼児教育・保育の無償化に伴い、子ども・子育て支援法による認定を受けた認可外保育施設の入所児童等の施設利用料を給付するほか、実費徴収の対象となった私立認定こども園等の入所児童の副食費を給付します。



写真④ 市内保育所の様子

● 生きる力を育む事業（寄附金活用金額：30,000,000円）

教育振興基金を活用し、子どもの健康な体、豊かな心、確かな学力を育むためのソフト事業を行う民間団体等に対し補助金を交付し支援します。

● 小中学校への教材等整備（寄附金活用金額：4,700,000円）

教育環境の充実を図るため、小中学校で使用する教材・消耗品等の購入を行います。

07 東日本大震災からの復興に

● 防災学習ツアー促進事業（寄附金活用金額：8,000,000円）

震災の教訓を伝える防災学習ツアー「学ぶ防災事業」の運営を支援し、観光客の誘客を図ります。

● 心の復興事業（寄附金活用金額：3,332,000円）



東日本大震災により被災した市民の心の復興を図ることを目的に、文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。

写真⑤ 心の復興事業「みやこ復興寄席」の様子

● 文化振興事業（寄附金活用金額：5,293,000円）

被災地支援活動により、小中学生への文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。



写真⑥ 文化振興事業「大阪交響楽団演奏会」の様子



● 復興推進スポーツチャレンジ事業（寄附金活用金額：3,000,000円）

震災の影響により、運動する機会が少なくなっている子供たちに、身体を動かす楽しさや喜びを実感できる機会を提供します。

写真⑦ 復興推進スポーツチャレンジ事業「高田道場」の様子

08 津波遺構（たろう観光ホテル等）の保存に

● 津波遺構保存事業（寄附金活用金額：2,033,025円）

津波で被災した「たろう観光ホテル」を、震災の教訓を後世に伝える津波遺構として保存整備するため、国の支援（復興交付金）により保存工事を実施しました。寄附金は、津波遺構保存基金に積み立て、維持管理などの費用に活用します。



写真⑧ 津波遺構「たろう観光ホテル」外観

09 平成28年台風第10号及び令和元年台風第19号による被害への対応に

● 就学援助事業（寄附金活用金額：12,476,000円）

被災に伴う経済的な理由により、就学困難な児童、生徒に対して、学用品費や給食費などを援助します。

《寄附金活用金額内訳》

- ・ H28年台風第10号による被害への対応分 6,098,000円
- ・ R元年台風第19号による被害への対応分 6,378,000円

● 被災者すまいの再建促進事業（寄附金活用金額：14,451,324円）

居住する住宅が全壊または半壊以上の被害を受け解体した被災者が住宅の建設・購入を行う場合に補助金を交付します。

《寄附金活用金額内訳》

- ・ H28年台風第10号による被害への対応分 3,368,824円
- ・ R元年台風第19号による被害への対応分 11,082,500円

クラウドファンディングの実施報告

令和元年度において、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを下記のとおり実施しました。

テーマ：力強く大きく咲き誇っていた一本桜の、元気な姿を取り戻したい！



満開時の一本桜

■実施理由／背景

亀ヶ森牧野にある一本桜は、品種はオオヤマザクラで樹齢100～200年。太平洋を望む標高約800メートルの牧草地に立ち、高さ約6メートル、枝幅約15メートル、幹回り3.5メートルと見応えのある桜です。満開の見頃であるゴールデンウィーク後半になると、地元の人だけでなく、県内外から多くの観光客や写真愛好家が訪れる人気スポットです。

しかし、開花の割合は年々減り、平成31年の春、一本桜は元気がなく、ごくわずか（例年の1割程度）しか花を咲かせませんでした。



平成31年春の状況

■内容

樹勢回復を図る取組（枯れ枝の除去、小口への防腐剤等の処理、土壌改良等）を実施することとし、取組の財源として、クラウドファンディングにより寄附金を募りました。

■クラウドファンディングの実施結果

実施期間：令和元年12月6日（金）～令和2年1月11日（土）
寄附金額：**979,500円（目標950,000円）**

■現在の状況

令和元年度において、樹勢回復作業を行いました。

（右の写真が作業時の様子です）

一本桜が元気を取り戻すまで、これからも取組を継続していきます。今後の一本桜の様子については、市SNS等で情報発信していきますので、見守っていただければ幸いです。



樹勢回復作業の様子



土壌改良後の様子